自民クラブ **松本誠一議員**

ため池の防災・減災対策について問う

答弁…防災重点ため池の安定解析を終了

Q ため池の危険予知調査は

A 県と市は、一斉調査を基に重点防災ため池を選定し、堤体等の土質調査と安定解析を終えている。

Q 浸水想定区域は

A 市内95カ所のため池の浸水想定区域は県の調査により実施済み。浸水想定区域図の提供を受けている。

Q 洪水・土砂災害ハザードマップと防災計画との共有は

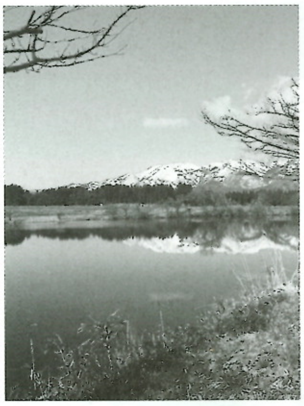
A 今回作成した、ため池ハザードマップには土砂災害警戒区域や河川浸水区域も掲載し、ため池の浸水想定区域と重ねて確認する事ができるようになった。

Q 新卒者に対する企業PRは

A 市内企業とのマッチングについては、総合戦略の「就活・雇用促進事業」において取り組んでいる。

Q 市内出身者向けの企業情報の情報提供は

A 29年度から取り組む予定の「南砺で働きませんかホームページ」の開設を機に、これまで以上にUターン就職につながるよう、市内出身者のニーズの把握と就職関連イベント等の情報発信に努める。



市内のため池

自民クラブ **向川静孝議員**

統合庁舎建設は浸水想定区域を考慮すべき

答弁…水防法の新しい基準にのっとった形で取り組む

Q 統合庁舎建設に当たっては最大規模の洪水による浸水想定区域を十分考慮すべきでは

A 水防法の新しい基準にのっとった庁舎であるべきで、災害が発生した有事の際、情報収集や指示系統が確保できる機能を持つことが重要。

Q 水防法の改正に伴う市の対応は

A 大規模氾濫に対する庄川、小矢部川、山田川、旅川の具体的な取り組み方針が29年度中に作成され公表される。

洪水避難地図（ハザードマップ）は県の浸水想定区域図に基づき30年度に見直し、周知する。

Q 南砺市文化芸術振興実施計画の周知と実施施策は

A 28年度実施の獅子舞調査など、文化芸術の記録を保存・活用し未来に伝達する「アーカイブス」の作成や各種団体への意識調査を実施する。

人的ネットワークを形成する人材を募り、文化芸術の相互理解のための交流事業の実施や団体間の協力体制を構築する。

Q 文化芸術の後継者不足や後継者の育成施策は

A 文化芸術に関係する事業を希望する学校側と子供達に、市内の各文化芸術団体等をマッチングさせ、関心を高める。

担い手不足に悩む集落や町内、団体等に担い手を派遣する「担い手ネットワーク事業」を実施する。